H20.10.21 東北地整　No. 61
災害現地対策本部　活動通信

東北地方整備局　災害現地対策本部

平成20年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を6月20日に設置。

【10日21日 18 時　災害現地対策本部情報】

1. 国総研・森林総研合同現地調査

・10月22日に土砂災害に関する以下の専門家による合同現地調査と、その結果の記者会見を予定しています。

国土交通省　国土技術政策総合研究所
砂防研究室主任研究官　水野　秀明
独立行政法人　森林総合研究所
水土保全研究領域長　松浦　純生

2. 栗原市長に工事進捗状況を説明

・10月20日15時30分から、栗原市長に現在までの工事進捗状況と冬季前までの工事予定について説明を行いました。

3. 第129回災害対策本部会議

・本日、第129回災害対策本部会議が開催されました。
主な議題として
「住民説明会への対応（花山・栗駒）」
「各機関の工事進捗状況」
「（主）築館栗駒公園線迂回道路の舗装に伴う全面通行止め」

4. 工事実施状況

①温湯地区　：書類作成
②湯ノ倉温泉地区：場内整備
③湯浜地区　：工事用道路（立木伐採、造成）（11月完了予定）
④沼倉地区　：本復旧工事設計中
⑤沼倉裏沢地区　：書類作成



▲工事進捗状況説明の様子



▲湯ノ倉温泉地区　仮排水路吐口



▲湯浜地区　工事用道路造成状況

H20.10.24 東北地整　No. 62
災害現地対策本部　活動通信

東北地方整備局　災害現地対策本部

平成20年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を6月20日に設置。

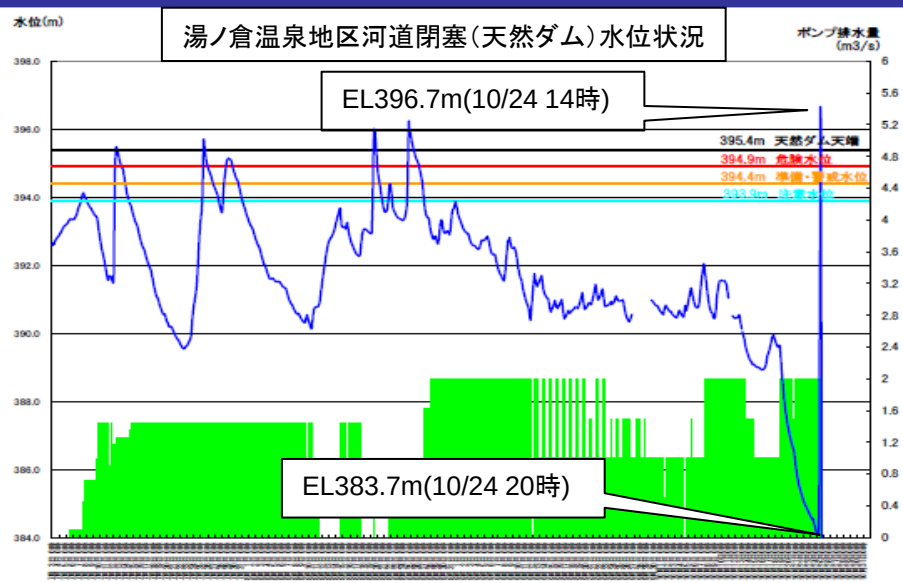
【10日24日 20 時　災害現地対策本部情報】

1. 前線による降雨で水位上昇

・24日の未明から降り出した雨は、24日20時現在、湯ノ倉雨量観測所の累加雨量が105㎜となっています。

・この降雨に伴い、湯ノ倉温泉地区の河道閉塞（天然ダム）地点の水位が上昇し、24日の13時30分に越流を確認し、ピークの水位は24日14時に396．7mに達しました。

・24日16時50分以降に急激な水位低下が見られたので、明朝以降河道閉塞（天然ダム）箇所の専門家等による調査を実施する予定です。



2. 国総研・森林総研合同現地調査の結果について

・国総研及び森林総研等で行った合同現地調査の結果を、10月22日に栗原市へ報告、及び記者会見を実施しました。

・湯浜地区河道閉塞（天然ダム）の調査結果
①河道閉塞（天然ダム）の形状は、6月21日時点では地震発生後のものとほぼ同じであったが、10月1日時点では一部浸食されていた。
②河道閉塞（天然ダム）の表面は礫で概ね覆われていたが、水が浸食していない箇所では砂も見られた。
③今後、豪雨や融雪などによって、湛水池に流れ込む水の量が急激に増加すると、澪筋の中に存在する礫が移動を開始する可能性がある。

・斜面などの危険箇所の調査結果
①山腹斜面対策もしくは土石流対策が必要とされた箇所は　19箇所
②整地程度の小規模な対策が必要とされた箇所は　3箇所
③直ちに対策は必要ないが今後の変状に注意すべきとされた箇所は　4箇所
④特に対策を必要としないとされた箇所は　7箇所


▲佐藤栗原市長への説明


▲記者会見の様子



▲湯浜地区　国総(2008.6.21)撮影



▲湯浜地区　国総研(2008.10.1)撮影

H20.10.25 東北地整　No. 63
災害現地対策本部　活動通信

東北地方整備局　災害現地対策本部

平成20年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を6月20日に設置。

【10日25日 20時　災害現地対策本部情報】

1. 花山地区住民説明会及び現地災害視察会

・本日、花山地区の住民の方を対象とした、災害現場の視察（61名参加）と住民説明会（63名参加）を行いました。
・災害現場視察は、坂下・小川原・温湯・湯浜の各崩落現場を視察しました。
・住民説明会は、亀裂の入った斜面などの危険箇所の合同調査結果、花山地区の災害復興事業の状況説明を行いました。
・住民の方からは、災害現場復旧の目途等について質問がありました。





▲湯浜地区崩落現場の説明

2. 栗原市長に河道閉塞（天然ダム）の浸食状況を説明

・10月24日未明からの降雨により、湯ノ倉地区の河道閉塞（天然ダム）が浸食され、本日実施した専門家等による河道閉塞（天然ダム）調査結果について、栗原市長に説明を行いました。
・市長からは、以下の点についてコメントがありました。
・今回の事象は、「決壊」ではなく「浸食」との見解を共通認識としたい。
・今回浸食された法面の脚部について、出来る限り融雪までに対応をお願いしたい。
・湯浜の河道閉塞（天然ダム）の危険性は変わらないので、住民の避難態勢をしっかり執りたい。
・温湯地区の対策工の効果があったのは理解した。再除石を早急にお願いしたい。



▶災害復旧工事の状況説明（住民説明会）

3. 河道閉塞（天然ダム）の浸食状況の記者会見実施

・本日実施した専門家等による河道閉塞（天然ダム）調査の結果について、記者会見を実施し、8社の参加がありました。
・記者からの質問は、浸食の定義、湯浜地区の河道閉塞（天然ダム）の危険性、今後の対策等の質問がありました。



▲浸食状況の調査結果説明の様子



▲記者会見の様子

東北地方整備局　災害現地対策本部

H20.10.28 東北地整　No．64
災害現地対策本部　活動通信

平成２０年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を６月２０日に設置。

【10日28日 18時　災害現地対策本部情報】

１．岡田局長が栗原市長を訪問

岡田局長が栗原市役所を訪問し２４日の河道閉塞（天然ダム）の浸食状況と今後の地整の支持体制等について、栗原市長と意見交換を行いました。

２．第１３１回災害対策本部会議

○２４日の湯ノ倉温泉地区における河道閉塞（天然ダム）の浸食について、小浪河川計画課長より会議にて説明を行いました。

主な議題

・河道閉塞（天然ダム）の浸食状況について
・各機関により工事進捗状況の説明

○栗原市長のコメント

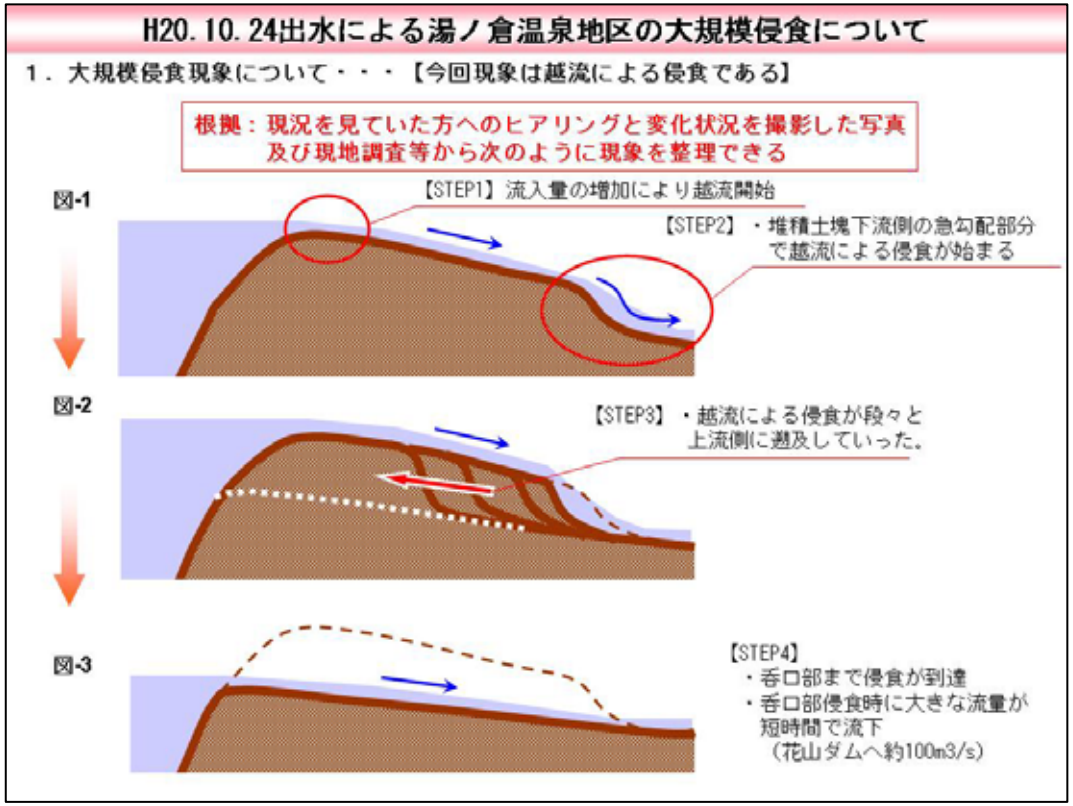
・２４日の出水対応における、関係者の皆様に御礼申し上げる。
・日頃より、現場での作業員、職員の二次災害防止に努めており、今回の出水でも事故が　なく対応できて良かった。今後とも安全第一で、無事故で災害に対応していきたい。
・いよいよ雪の季節となり、耕英地区の皆様の冬支度を目にすると、県道や電気などの早　期対応に感謝している。
・今後とも、関係機関と協力してこの危機を乗り越えていきたい。



局長が栗原市長に説明



２４日の状況を小浪課長が説明



東北地方整備局　災害現地対策本部

H20.11.04　東北地整　No. 65
災害現地対策本部　活動通信

平成20年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を6月20日に設置。

【11月04日　18 時　災害現地対策本部情報】

1. 天然ダム委員会の開催について

― 大規模な河道閉塞（天然ダム）の危機管理に関する検討委員会（第2回） ―

・11月4日（火）15時30分から栗原市において本省主催の「第2回天然ダム検討委員会」が開催されました。
・目的は、現地の状況把握の現地調査と被災当時の実態把握を行うためのヒアリングを行いました。
・現地調査後行われたヒアリングには、工事関係業者からは宇部建設（株）の稲辺さんと間組(株)の菅原さん、栗原市役所からは千葉花山支所長が、今回の地震において経験した内容について聞き取り等行われました。



▲天然ダム委員会の現地調査（市野々原地区）



▲天然ダム委員会の現地調査（小川原地区）

2. 第133回災害対策本部会議

・本日、第133回災害対策本部会議が開催されました。
主な議題として、
①工事状況の変更点について（10月24日の降雨を受けての被災箇所の変更点等）
②各機関の工事状況の進捗状況等
③県警による再捜索（遺留品）関係（11月5日～7日予定）
④行政区長の現地調査（11月6日～7日、11月10日～12日（2回実施予定）
⑤いわかがみ平駐車場の車両撤去関係（11月8日実施予定）



▲検討委員会全景



▲検討委員会委員の方々

3. 工事実施状況

①温湯地区　　：工事用道路復旧工事
②湯ノ倉温泉地区：流路工等施工（11月末まで施工予定）、
③湯浜地区　　：工事用道路（伐採材収集運搬）
（11月中旬一部完了予定）



▲湯ノ倉温泉地区　工事実施状況



▲温湯地区　工事実施状況

東北地方整備局　災害現地対策本部

H20.11.07　東北地整　No.66
災害現地対策本部　活動通信

〔平成２０年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を６月２０日に設置。〕

【11月07日　17 時　災害現地対策本部情報】

1．置き去り車（栗駒いわかがみ平）搬出へ

・土砂崩れに遭った栗駒山登山口のいわかがみ平周辺道路の仮復旧が完了しました。（関係車両のみ通行可能）
・いわかがみ平駐車場から車両１９台が山を下ります。
（１１月８日１１：１０から１５：３０予定）
・宮城県では、１１月６日被災した県道築館栗駒公園線の復旧や被災状況を報道陣に公開しました。



▲道路仮復旧状況（宮城県提供）



▲車両状況（宮城県提供）

2．東北治水大会

・１１月６日（木）に第４９回東北治水大会（全国治水期成同盟会連合会　宮城県　宮城県治協会主催）が、仙台市宮城野区のメルパルク仙台で開催されました。
　この大会で栗原市の佐藤市長が、河川の土砂災害や復旧状況について報告しました。また、「大地震の被害を抑制し、水源地を守るためにもダムや流域河川の整備の必要性が高い」と強調しておりました。



▲第４９回東北治水大会



▲報告を行う佐藤市長

3．工事実施状況

①温湯地区　　：工事用道路復旧工事（11月8日完了）
　　来週より砂防堰堤部の除石実施
②湯ノ倉温泉地区：流路工等施工(11月末まで施工予定)
③湯浜地区　　：工事用道路（伐採材収集運搬）
　　（11月中旬一部完了予定）



▲湯ノ倉温泉地区　工事実施状況



▲温浜地区　工事実施状況

東北地方整備局　災害現地対策本部

H20.11.14　東北地整　No.67
災害現地対策本部　活動通信

平成２０年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を６月２０日に設置。

【11月14日　17 時　災害現地対策本部情報】

1．仙台管区気象台長が現地視察

・11月10日（月）に仙台管区気象台長他2名が災害現場視察を行いました。（視察箇所：湯浜、湯ノ倉、温湯、小川原、浅布）



▲気象台による湯ノ倉温泉地区の視察



▲大島台長への説明状況

2．(社)日本地すべり学会による巡検

・11月18日から21日に東京で行われる「第１回斜面防災世界フォーラム」に先立ち、11月11日から12日に東北学院大学で行われた国際会議（研究発表会）の一環として11月13日に災害現場の巡検が行われました。（巡検者は国内から約５０名、海外から約６０名）



▲地すべり学会による巡検（浅布地区）



▲地すべり学会による巡検（小川原地区）

3．(社)土木学会東北支部による「土木の日」シンポジウム

・11月17日（月）に仙台市情報・産業プラザ（アエル）において『防災に関するシンポジウム（岩手・宮城内陸地震の教訓を共有化し、次の宮城県沖地震に備える）』が開催されます。
当日は、基調講演として佐藤 勇 栗原市長が、また岩手・宮城内陸地震報告として松井 幸一 東北地方整備局　防災課長が出演の予定です。



▲湯ノ倉温泉地区　帯工施工状況



▲土木学会によるシンポジウム

4．工事実施状況

①温湯地区　：砂防堰堤部の除石実施（11月末まで実施予定）
②湯ノ倉温泉地区：法面整形、大型土のう設置、河道帯工を実施（11月末まで施工予定）
③湯浜地区　：工事用道路（伐採材収集運搬）（11月中旬一部完了予定）



▲温湯地区　上流砂防えん堤除石状況

東北地方整備局　災害現地対策本部

H20.11.20　東北地整　No.68
災害現地対策本部　活動通信

〔平成20年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を6月20日に設置。〕

【11月20日　17時　災害現地対策本部情報】

1．花山地区の降雪状況

・11月19日（水）からの降雪により湯ノ倉温泉地区の河道閉塞（天然ダム）箇所において約20cm程の積雪がありました。現在の対策工事は11月末までの予定で鋭意施工中です。（冬期は降雪の為、対策工事は休工となります。）

2．湯ノ倉温泉地区の帯工が完了

・湯ノ倉温泉地区の河道閉塞（天然ダム）箇所対策として施工中の帯工が完了しました。

※帯工・・・土石の流出を防ぐ為に、鋼製の枠に石を敷詰め、堰堤（延長40m、高さ2m、幅1.5m）を設置する工事。

・10月24日の降雨により土砂浸食が起こったことから「非常体制」となっておりましたが、応急対策工事が概成したので、本日「警戒体制」に移行しました。

3．工事実施状況

①温湯地区　：砂防堰堤部の除石実施（11月末まで実施予定）

②湯ノ倉温泉地区：法面整形、大型土のう設置、河道帯工を実施（11月末まで施工予定）

③湯浜地区　：工事用道路（伐採材収集運搬）（11月下旬一部完了予定）

④小川原地区　：仮排水路復旧工



▲11／19降雪前の状況



▲11／20降雪後の状況



▲10／25湯ノ倉温泉地区全景



▲11／19帯工が完了



▲温湯地区の除石実施状況



▲湯ノ倉温泉地区の法面整形状況

東北地方整備局　災害現地対策本部

H20.11.27　東北地整　No.69
災害現地対策本部　活動通信

〔平成２０年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を６月２０日に設置。〕

【11月27日　17 時　災害現地対策本部情報】

1．第9回迫川流域に係る防災連絡調整会議の開催について

・本日、栗原市役所で市、国土交通省、林野庁、宮城県が集まり、各機関の対策工の進捗状況、冬季の監視体制、避難基準の見直し等について打合せしました。
・仙台管区気象台もオブザーバーで参加し、大雨警報等の暫定基準についての説明がありました。

2．第137回災害対策本部会議について

・本日、第１３７回災害対策本部会議が開催されました。
会議の主な内容は以下のとおりです。
①防災連絡調整会議の打合せ概要
②各機関の復旧工事の進捗状況と今後の予定
③栗原市花山・栗原両総合支所での被災住民に対する対応状況
④定例記者会見の予定。（１２月１日開催予定）

3．工事実施状況

①温湯地区　：河床仕上げ
（11月末まで実施予定）
②湯ノ倉温泉地区：背面盛土、大型土のう設置
（１１月下旬完了予定）
③湯浜地区　：工事用道路（伐採材収集運搬）
（11月下旬一部完了予定）
④小川原地区　：仮排水路復旧工・捨石工・土のう設置　（１１月下旬完了予定）



▲防災連絡調整会議全景



▲災害対策本部会議全景



▲温湯地区　河床仕上げ（掘削）状況



▲湯ノ倉地区　大型土のう設置状況



▲湯浜地区　伐採材収集運搬状況



▲小川原地区　仮排水路復旧状況

東北地方整備局　災害現地対策本部

H20.12.4　東北地整　No．70
災害現地対策本部　活動通信

〔 平成２０年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を６月２０日に設置。 〕

【１２月４日　１７時　災害現地対策本部情報】

１．１２月１日に国・県・栗原市による合同記者会見開催

・栗原市において、復旧工事等の進捗状況や今後の工事見通し等について、合同の記者会見が行われました。
・国土交通省からは次の3点について説明を行いました。
　①河道閉塞箇所のスケジュール
　②積雪期及び融雪期の監視計画
　③融雪期には土砂災害のリスクが高まるので注意が必要
・市長より「避難指示、避難勧告の解除は雪解けの状況を見てからになる。住民の皆さんにもよく説明していきたい。」と安全が第一であるとの従来からの考えをあらためて強調されました。

２．河川部長が栗原市長を来訪

・河道閉塞等の状況、積雪期・融雪期の対応について、説明が行われました。

３．第１３８回災害対策本部会議

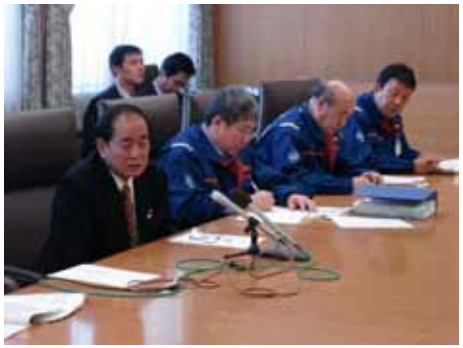
・本日、第１３８回災害対策本部会議が開催されました。
・今回より、東北農政局が参加し、志波姫総合支庁に対策事務所（5名体制）が設置された旨の報告がありました。
・栗原市の、定例議会が１２月２日より開催されました、会期は１２月１９日までです。

４．工事実施状況

①温湯地区　　：工事用道路整形完了（１２／３）
②湯ノ倉温泉地区：場内整理（１２／１３完了予定）
③小川原地区　　：仮排水路復旧工・捨石工・土のう設置（１２／２０完了予定）



▲合同記者会見全景


▲栗原市長による会見


▲湯ノ倉温泉地区　場内整理状況


▲湯ノ倉温泉地区　ポンプ撤去状況


▲温湯地区　工事用道路整形（完了）


▲小川原地区　仮排水路復旧状況